



大阪経済法科大学

# Keiho vol.29

2025年4月30日発行

自分のできるに繋がる、心のスイッチが入る校友会報

YES SWITCH CAN

おっしゃ!  
私もできる!!

## CONTENTS

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1 第27回大阪経済法科大学校友会総会案内 | 7 NEWS           |
| 3 校友会会長・新副会長挨拶        | 9 校友インタビュー       |
| 4 第14期大阪経済法科大学校友会役員   | 12 盛り上げ隊対談       |
| 5 学長挨拶                | 13 懐かしの先生・懐かしの場所 |
| 6 事業報告・事業計画・読者アンケート結果 | 15 編集後記・読者アンケート  |



# CONNECT

# 総会 2025 5.31 (土) SAT

初参加  
大歓迎!

簡単オススメ!  
QRコード申込

参加申込  
フォーム



シェラトン都ホテル大阪

総会 15:00~16:00  
懇親会 16:15~18:45

## 広げよう、校友の輪

支える人と受け継ぐ人の輪が、未来へとつながる

### 参加者の声をお届け

#### VOICE

Q. 参加する理由は?

最初は参加する気がなかったのですが、支部長に誘われて初めて全国総会に参加しました。卒業生の皆さんとのポジティブで愛校心溢れる交流に感動し、それ以来はほとんど毎年参加しています。今年の総会も楽しみです。皆さん、ぜひお会いしましょう!

#### VOICE

Q. 総会の魅力は?

初めて校友会総会に参加したきっかけは、自宅に届いた案内ハガキでした。初めは不安でしたが、先輩方が気さくに声をかけてくださり、母校について語り合うことができるとも楽しい時間でした。ぜひ、初めての方もご参加ください。

### #名刺100枚持って VOICE

Q. 総会のワクワクポイントは?

総会は毎回新しい出会いがある場です。幅広い年代の卒業生が集まり、学生時代の思い出から仕事や社会のことまで、気軽に話せるのが魅力です。大学の近況や歴史を知ること、母校への想いが一層深まります。大好評の抽選会では、豪華賞品が当たるチャンスもありますよ!

### #行くぜ、総会

### #来たぜ、総会



#来たぜ総会 #懐かしの瞬間 #再会 #みんなで笑顔



### OVERVIEW

#### 第27回大阪経済法科大学校友会総会・懇親会

- <日時> 2025年5月31日(土)  
総会 : 15:00~16:00  
懇親会 : 16:15~18:45
- <会場> シェラトン都ホテル大阪  
総会 : 浪速西の間  
懇親会 : 浪速東の間
- <参加費> 3,000円 同伴者1人につき3,000円(小学生以下は無料)  
2025年3月卒業生は無料



# 校友会会長・新副会長ご挨拶

**大**阪経済法科大学校友会は、1999年6月に設立され、年1回の校友会総会の開催、校友会報の発行、各支部の活動支援、種々の在学生支援等の事業活動に努めてまいりました。石川県、東京都、愛知県、三重県、岡山県、広島県、香川県、高知県、福岡県、沖縄県の10地域に校友会支部があり、昨年には関西支部も設け、地域支部会員の親睦・交流を図っております。年1回の支部総会を開催するほか、地元のボランティア活動や在学生のUターン就職支援など、地域支部独自の事業が展開されるようになってきました。

恒例となっている経法祭への参加を通して、積極的に現役学生との交流を深めています。また、経法祭は、卒業生の「ホームカミングデー」として位置づけ、校友会独自のテントを設け、模擬店を出し、卒業生、在学生、教職員、地域住民、そのほか様々な人の交流の場としています。

今後ますます卒業生の輪が広がり、校友会が現役学生を力づけ、母校の発展に寄与できるような組織であり続けたいと願っております。皆さまが積極的に校友会活動に参加して下さることを期待しております。引き続き、校友会へのさらなるご支援、ご協力を賜りますよう、校友会役員一同よりよろしくお願い申し上げます。



校友会会長  
**伴井 敬司**  
法学部 1期生

## 第14期 大阪経済法科大学校友会役員が決定

2025年4月より、三戸泰樹さんが新たに校友会副会長に就任しました。

**経**済学部 20期生の三戸泰樹です。この度、副会長を拝命いたしました。学生時代は文化会軽音楽部に在籍し、文化会本部長や経法祭実行委員長を務め、音楽やボランティア活動など、大変充実した学生生活を過ごしておりました。

校友会には設立当初から約25年にわたり役員として関わってまいりましたが、改めて本学の卒業生として、また校友会の一員として、母校とのつながりをより深めていきたいと考えています。伴井会長をはじめとする役員の方々と力を合わせ、校友会のさらなる発展に尽力してまいります。

校友会は、世代を超えて卒業生がつながり、お互いを支え合う大切な場です。今後も、多くの皆さまに参加していただけるよう、さまざまな活動を企画・運営してまいります。微力ではございますが、誠心誠意努めてまいりますので、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



校友会副会長  
**三戸 泰樹**  
経済学部 20期生

第14期 役員 任期:2025年4月1日～2027年3月31日

正会員			人数
役職	氏名	期	
顧問	山垣 真浩 (特別顧問) ※	学長	1名
会長	伴井 敬司	1期生	1名
副会長	栢田 博昭 (広島支部長)	3期生	3名
	山下 浩希 (石川支部長)	10期生	
	三戸 泰樹	20期生	
常任幹事	濱口 元洋 (三重支部長)	7期生	5名
	小林 保重	22期生	
	石山 陽浩	25期生	
	山内 綾	29期生	
	富山 源太郎	32期生	
幹事	八瀬林 肇	6期生	25名
	石塚 央 (香川支部長)	6期生	
	元成 栄次郎	6期生	
	上田 英雄	6期生	
	緒方 智	6期生	
	中西 郁夫 (岡山支部長)	6期生	
	岩井 司 (高知支部長)	10期生	
	岸 泰至 (愛知支部長)	12期生	
	中津 広志	13期生	
	新里 靖 (沖縄支部長)	14期生	
	江川 充彦	17期生	
	斉木 秀昭 (関西支部長)	18期生	
	入嶋 修一 (福岡支部長)	20期生	
	福岡 慎吾 (東京支部長)	20期生	
	濱田 亜紀	27期生	
	安田 貴則	29期生	
	山崎 亮介	33期生	
	鎌田 松輝	48期生	
大谷 昌広	49期生		
田川 サヤ	50期生		
下村 青空	51期生		
春山 勝哉 ※	事務局長		
橋本 久 ※	退職教員		
会計監査	吉田 隆顕	31期生	2名
	岸本 香菜子	35期生	

※：特別会員

2025年4月1日時点

## 新幹事就任のご挨拶

私は6期生で、現在は(株)はるやまホールディングスの業務監査課にて、嘱託社員として全国の支店を巡り、店舗監査をしています。趣味は釣りで、月に2～3回は海に出かけています。岡山支部としては、若い会員を増やすため、岡山出身の学生との交流会などを開催し、楽しい学生生活を送る手助けができればと考えています。

新幹事 岡山支部 支部長  
**中西 郁夫**  
法学部 6期生



18期生の斉木秀昭です。現在、枚方に住んでおり、休日は枚方市駅や牧野駅周辺でゴミ拾いのボランティア活動に参加しています。地元のサッカークラブと連携し、枚方市総合運動場で試合を観戦後、サポーターと協力して観客席の清掃活動も行っています。新幹事として、皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

新幹事 関西支部 支部長  
**斉木 秀昭**  
経済学部 18期生



私は経済学部卒業の田川サヤと申します。現在、保険業界で営業職として働いています。校友会幹事として、卒業生同士の交流を深めるイベントの企画や、後輩へのサポートを通じて、より良いつながりを作りたいと考えています。よろしくお願いたします。

新幹事  
**田川 サヤ**  
経済学部 50期生



この度、幹事を務めることになりました下村青空です。現在、高知県で働いています。幹事として、経法祭などの行事に参加し、校友会と大学の発展のために微力ながら貢献できるよう努力いたします。至らぬ点も多いかと思いますが、これからよろしくお願いいたします。

新幹事  
**下村 青空**  
経済学部 51期生





# 山垣学長

## ご挨拶

2025年4月、大阪経済法科大学学長に就任いたしました、山垣 真浩と申します。一橋大学大学院経済学研究科博士課程を修了し、社会政策や労働経済を専門に研究してまいりました。特に、雇用関係の仕組みや労働組合の役割、労使関係のあり方について探究しております。私は、大学での学びとは「自ら問題を見つけ、解決に向けて考える力」を養うことだと考えております。この力こそが、社会で活躍するための大きな原動力となります。本学のさらなる発展と、学生の成長を第一に考えた教育の実践に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪経済法科大学 学長  
山垣 真浩

校友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、本学教育研究活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大阪経済法科大学は、今年で創立54周年を迎えます。1971年の大学創立以来、「経済と法律が社会の両輪であり、この二つの学問を修めることによって無類の人格を形成することができる。」との創立者の信念に従い、万人に開かれた高等教育の実現を目指して、教育研究活動に取り組んでまいりました。そして、現在は、経済学部・経営学部・法学部・国際学部と大学院経済学研究科の4学部1研究科を擁する大学へと発展してまいりました。

本学はこれまで半世紀以上の歴史の中で、海外の名だたる大学との関係を築き、世界に広がるネットワークは27ヵ国・地域75大学・教育機関へと広がり、多くの学生が留学プログラムに参加し、大きな成長を遂げてきました。また、今年度は世界15カ国の地域から迎え入れた留学生が行き交い、国際色豊かな学びの場を構築してくれています。さらに、学生一人ひとりに目が行き届く少人数教育も本学の特色の一つであり、大規模校では見過ごされてしまう学生の個性や強みをキャッチし、専門知識の修得や学生の希望進路の実現などに向け、教職員一丸となって取り組んでいます。また、本学独自のSコー

スは、開設から20年以上にわたって多くの弁護士や公認会計士などの専門職人材や、公務員採用試験合格者など、社会や未来が求める人材を多く輩出することができたと自負しています。これまで本学が社会に送り出した卒業生は、4万6千人を超え、多くの卒業生が社会の重要な役割を担う人材として活躍され、さらに創立初期の卒業生の方々は、社会の指導層の一員として国内外で大いに活躍されておられます。

大阪経済法科大学校友会は、卒業生が正会員、在学生在が準会員、教職員が特別会員となり、毎年開催する総会・懇親会や支部活動（石川、東京、愛知、三重、関西、岡山、広島、香川、高知、福岡、沖縄）に加え、卒業生のホームカミングデーとして位置付けている経法祭への参画や様々な在学生支援などの活動に取り組み、卒業生と在在生・教職員を結び付ける交流の場となっています。是非多くの卒業生が校友会活動にご参加されることを期待しています。

今後も本学は、建学の理念に基づき、教育研究を通じて人権の伸長と国際平和の貢献に取り組むとともに、学生の成長を第一に考え、社会に求められる人材育成に取り組んでまいりますので、校友会の皆様におかれましては、引き続き後輩たちへのご支援賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 2024 年度事業報告

### ■2024 年度大阪経済法科大学校友会事業報告

1. 総会の開催（年1回）  
第26回校友会総会  
5月25日（土）シェラトン都ホテル大阪

### 2. 幹事会の開催

第1回	5/25	シェラトン都ホテル大阪
第2回	8/4	WEB 審議
第3回	9/14	たかつガーデン
第4回	11/2	花岡キャンパス
第5回	1/25	たかつガーデン
第6回	3/22	たかつガーデン

### 3. 地域支援活動

- ・第13回全国支部長会議 9/14
- ・関西支部設立総会 11/17
- ・支部総会の開催  
第18回広島支部総会 4/12  
第20回岡山支部総会 4/13  
第21回高知支部総会 7/13  
第16回愛知支部総会 7/20  
第15回東京支部総会 8/2  
第14回三重支部総会 10/12  
第19回石川支部総会 10/19  
第13回福岡支部総会 11/16  
第22回香川支部総会 11/30  
第21回沖縄支部総会 2/22

### 4. 広報活動の充実

- 校友会報第28号の発行（4月）

### 5. 在学生支援

- 卒業記念品

※2024年度決算、2025年度予算につきましては、5月末頃大学WEBサイト校友会ページに掲載します。

## 2025 年度事業計画

### ■2025 年度校友会活動方針

校友会は、1999年に設立された、校友の皆さんがつながり、支え合い、共に成長するための重要な組織です。校友会は、卒業生同士の絆を深め、母校の発展に貢献するための場として、積極的に活動に参加し、共に活躍できる方々を求めています。昨年、関西支部が新たに設立され、より多くの校友が集まる機会が広がりました。今後も、校友会総会や支部総会を通じて、校友同士の交流を深め、母校の未来を共に築いていくことを目指しています。

ぜひ一度、校友会の行事にご参加いただき、校友の輪を広げ、より強い絆を作りましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

校友会会長 伴井 敬司

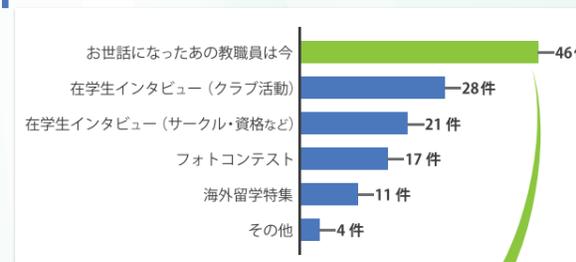
### ■2025 年度大阪経済法科大学校友会事業計画

1. 第27回校友会総会  
5月31日（土）シェラトン都ホテル大阪（予定）
2. 幹事会の開催
3. 地域支部活動支援
  - ・全国支部長会議
  - ・支部総会の開催
  - ・支部活動援助費の交付
4. 広報活動の充実
  - ・校友会報第29号の発行
  - ・公式HPでの情報発信
  - ・公式SNS（Facebook、YouTube、X）での情報発信
5. 在学生支援  
経法祭参加企画の実施、卒業記念品・卒業祝賀企画の実施

## Keiho28号 読者アンケート結果報告

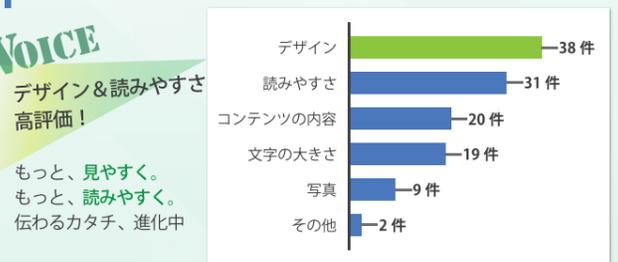
### 今後の校友会報に取り入れてほしい内容

64件の回答（複数選択可）



### 今までの会報から良くなった項目

64件の回答（複数選択可）



## VOICE

### 読者の声から新企画誕生！

ダントツ1位に輝いた「お世話になったあの教職員は今」読者の声を受けて、今号から新企画がスタート！記念すべき第1回は、能塚先生にご登場いただきました。懐かしさと驚きが詰まったインタビューをお届けします！



## VOICE

インタビューが上位3つを独占！

**NO.1** (25件) NEWS・内藤さんインタビュー

**NO.2** (24件) 島ノ江さんインタビュー

**NO.3** (23件) 総会案内・高橋さんインタビュー

今号は関心の高いコンテンツをパワーアップ！インタビュー強化 & NEWS 充実！

## イマアツ 地域独自の事業展開

今、熱い活動で盛り上がる支部をご紹介します！



関西支部 支部長  
**斉木 秀昭**  
経済学部18期生

### 関西支部発足 2025

OUR VISION



関西支部 副支部長  
**生駒 元男**  
経済学部9期生

関西支部長に就任いたしました斉木 秀昭です。現在、株式会社イトアンド関西工場に勤務し、大阪王将の看板商品である冷凍羽つき餃子の製造に携わっています。

2月には天王寺で新年会を開催し、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。関西支部の運営においては、「風通しの良さ」と「継続」の2つを軸に、しっかりと土台を築いていきます。

最後になりますが、より多くの大学関係者の皆さまの力をお借りしながら、副支部長とともに関西支部を盛り上げていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

関西支部副支部長に就任いたしました生駒元男です。私は9期生で、現在はヤマト運輸株式会社に勤務しています。今回、関西で支部が立ち上がることを大変嬉しく思っています。2月には、関西支部で新年会を開き、多くの方にご参加いただき、楽しい時間を過ごすことができました。

これからは、このような機会を増やし、より多くの方が参加できる支部を作っていきたいと考えています。さらに、目標として関西の2府4県に各支部を設立することを目指しています。微力ながら精一杯頑張っており、何卒、関西支部をよろしくお願いいたします。

### 新たな仲間との出会いと未来への第一歩

経済学部 45 期生の西山蓮です。2024 年11月17日(日)、近畿地方で初めての支部が設立され、大阪国際交流センターで関西支部設立総会・懇親会が開催されました。会長、副会長、関西支部長の挨拶の後、懇親会が始まり、非常に和やかな雰囲気に包まれました。私自身、関西支部設立総会・懇親会が初めての校友会活動への参加だったこともあり、「周りの人と何を話せばいいのだろう」と緊張しながらの参加となりました。しかし、先輩方が積極的に話しかけてくださり、温かく迎えていただいたおかげで、すぐに打ち解けることができました。その日のうちに次回の支部総会(新年会)の予定が決まり、2月8日(土)

には総勢18名が集まりました。設立総会・懇親会で話せなかった方々とも交流でき、関西支部を今後どのように盛り上げていくかなど、話題で大いに盛り上がりました。関西支部としても、素晴らしいスタートを切れたのではないのでしょうか。

関西支部の発足をきっかけに初めて校友会活動に参加し、普段の生活では出会えないような方々と交流でき、とても有意義な時間を過ごすことができたと感じています。大阪に限らず、近畿地方にお住まいの方ならどなたでも大歓迎です。一緒に関西支部を盛り上げていければ嬉しく思いますので、ぜひご参加お待ちしております！



つながる笑顔、広がる絆。 2月8日(土) 関西支部新年会

西山 蓮  
経済学部 45 期生



岡山支部 支部長  
**中西 郁夫**  
法学部6期生

岡山支部の支部長を務めております、6期生の中西です。校友会に入ったきっかけは、大学の寮の先輩からの誘いでした。様々な業種の方との交流を通して視野を広げたいという思いがありました。

岡山支部では、地域に根ざした様々な活動を行っています。例えば、河川のクリーン活動や、学生向けの就職相談会などです。特に就職相談会では、自身の経験を踏まえ、学生の役に立つアドバイスを心がけています。

近年は会員の高齢化が進み、若い世代の参加が少なくなっています。そこで、学生のためになる活動を充実させることで、若い世代にも校友会の魅力を感じてもらいたいと考えています。大学との連携を強化し、就職支援や悩み相談など、学生のニーズに応える取り組みを進めていきたいです。また、OB・OGとして学生をサポートすることで、校友会への入会を促し、組織の活性化につなげていきたいと考えています。

今後は、岡山支部だけでなく、全国の支部が連携し、それぞれの地域で特色ある活動を展開することで、校友会全体の魅力を高めていきたいです。そして、校友会での活動を通して、達成感や充実感を感じられる、そんな組織を目指していきます。



高知支部 支部長  
**岩井 司**  
法学部10期生

私は10期生で、現在、高知支部の支部長を務めています。卒業後は高知市消防局に勤務し、救助隊・救急隊を経て、出張所長、副署長、署長と様々な立場で経験を積んできました。

大学時代は空手道部に所属していました。そして先日、空手道部OB・OG会の会長を拝命しました。2023年には、空手道部の後輩が海外の大会でチャンピオンになり、OB・OG会の総会で祝勝会を開催する予定です。今後も、クラブ活動のスポンサーを募るなど、OB・OG会として世界大会に出場する学生を支援していきたいと考えています。

私は高知支部が設立された初期から校友会の活動に参加しており、2016年からは2代目支部長を務めています。当時の支部総会には約30名が参加していました。今後も積極的に活動し、学生の役に立つような、Uターン・Iターンを促進するための就職相談会などを開催したいと考えています。また、高知支部独自の取り組みとして「よさこい祭り」への参加も検討したいです。よさこいは地域を代表する祭りであり、校友会として協賛することで、大学の名前を広める良い機会になると考えています。今後も高知支部として、様々な活動に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 経法祭 毎年出店！校友会のテントに、今年は立ち寄ってみませんか？

2025年秋開催予定！  
詳しくはWebで！



2024年11月2日(土)、花岡キャンパス  
第53回経法祭「躍動」

経済学部 32 期生の富山源太郎です。校友会では、経法祭を「ホームカミングデー」と位置付けており、在学生や教職員、そして校友同士がつながる新たな出会いの場となっています。卒業して10年以上経つと、大学の変化に驚くことばかりです。新しい校舎や設備、多様な国からの留学生など、まるで別の大学のような感じです(笑)。昔話に花を咲かせながら、母校の新しい魅力を発見できる1日。ぜひ足を運んでみてください！

富山 源太郎  
経済学部 32 期生



## Give & Give & Give & Take

# INTERVIEW

株式会社グリーン・デイ  
代表取締役  
**西 博文さん**  
法学部 22 期生

北陸を中心に、コンビニとファーストフード店を30店舗経営している西博文さん。どんな環境もポジティブに捉え、与えられた状況を受け入れながら全力を尽くす。その姿勢と"Give & Take"の精神を大切にしながら会社を成長させる秘訣を伺いました。

インタビュアー：副会長 山下 浩希

### 高校受験失敗を乗り越え経法大へ

山下：西さんとは石川支部活動で10数年のお付き合いですが、改めてこれまで生きてきた中でのターニングポイントを語っていただきたいと思います。まずは、西さんの原点とも言える高校時代についてお聞かせいただけますか？

西：はい、よろしくお願ひします。高校時代ですが、実は第一志望の高校には落ちてしまったんです。

山下：そうだったんですね。

西：そこで母親に勧められた北陸大谷高校(現小松大谷高校)の2次試験を受け、特進クラスに入ることになったんです。

山下：特進クラスというと、勉強漬けの毎日だったのでは？

西：その通りです。部活動もできず、1日に8時間の授業があり、終わるのは夕方の5時半でした。でも、そのおかげで受験に集中できたとも言えますね。

山下：なるほど。そして経法大に進学されたんですね。

西：はい。特進クラスは受験一本だったので、ほとんどの生徒が金沢大学を目指していたのですが、私は関西に出たいという思いがあり、先生に経法大を推薦いただきました。

山下：大学時代はどのように過ごされていたのですか？

西：それがですね、バスケットに入ったのですが、すぐ辞めてしましまして、その後はアルバイトもせずに友人との遊びに明け暮れていました。4年生になって就職活動を始める際、実家が社員食堂の給食関係の仕事をしていたこともあり、外食チェーンの経営に興味を持って、大手ファミレスチェーン店に就職しました。

### 外食業界からコンビニ経営への挑戦

山下：その会社ではどんな業務を？

西：3年間、店舗マネジメントを学びました。

山下：その後、コンビニ経営に方向転換されたんですね。

西：はい。コンビニ経営の前に、実家の社員食堂の会社に戻ったのですが、派遣切りの影響で社員食堂の利用者が減り、将来に不安を感じました。そんな時、実家の近くにコンビニの店舗ができるという情報を聞きつけ、27歳でオーナーとなりました。

山下：コンビニ経営はいかがでしたか？

西：1店舗目の売り上げは芳しくありませんでしたが、最初から多店舗展開を考えており、本部にアピールし続け、少しずつ店舗を増やしていきました。

### 点と点が繋がり線になる

山下：多店舗展開はどのように実現されたのですか？

西：「Give & Give & Give & Take」の精神を重視しました。常にお客様や本部に対して与えることを意識し、信頼関係を築くように心がけました。その結果、本部の信頼を得て、3店舗目、4店舗目と増やしていきました。現在では北陸3県を中心に30店舗を展開するまでになっています。

山下：多店舗展開する上で苦労したことはありますか？

西：一番は人材ですね。シフトを守らない、物が無くなる、従業員同士の喧嘩など、本当に苦労しました。

山下：どのように解決されていたのですか？

西：大学時代の法学部での学びを活かし、法律的な発想や論理的思考でスタッフと話し合い、解決に導いていました。最終的には、相手のことを思っているという気持ちを伝え、納得してもらうようにしていました。

山下：西さんのこれまでの道のりを振り返ってみて、いかがですか？

西：高校受験の失敗、大学時代の放蕩、就職活動での紆余曲折など、一見マイナスに思える出来事も、今の私を形成する重要な要素となっています。スティーブ・ジョブズの言葉を借りれば、「点と点が繋がり線になる」。過去の経験を全てポジティブに捉え、現在の成功に繋げています。



社員の個性を引き出す組織作り  
— 日々の従業員との会話を大切に —



BLP(ビジネスリーダープログラム)  
特別演習 夏合宿OB講話 — 学生達と語り合う —

### 「ONE PIECE」の世界観を組織運営に

山下：なるほど。素晴らしい考え方ですね。組織運営にはどのような工夫をされているのですか？

西：組織運営には人気漫画「ONE PIECE」の世界観を取り入れています。個性的な登場人物のキャラクターを参考に、社員の個性を活かし、それぞれの能力を最大限に発揮できるように組織作りを目指しています。

山下：非常に面白いですね。今後の目標をお聞かせいただけますか？

西：コンビニエンスストアの地位向上を目指しています。フランチャイズという制約がある中でも、独自の工夫で店舗の魅力を高め、地域に貢献できる存在になりたいと考えています。また、様々な経営者と交流することで、刺激を受け、自身の成長の糧にしていきたいと思っています。



## 父親の意志を受け継ぎ、 町工場の経営者へ

# INTERVIEW

真生電化工業株式会社  
代表取締役  
**石井 淳さん**  
経済学部 16 期生

愛知県名古屋市内に、硬質クロムメッキに特化した小さな町工場があります。技術と信用を武器に、オンラインワンを目指す熱い会社です。社長の石井淳さんは、父の会社に関心がなくサラリーマンとして働いていましたが、会社を継ぐことに。その経緯や夢を伺いました。

インタビュアー：副会長 山下 浩希

### やんちゃ少年、水泳に打ち込む

山下：学生時代についてお聞かせいただけますか？

石井：愛知県尾張旭市で生まれ育ち、子供の頃はよく叱られるやんちゃな子でした。中学で水泳部に入り、平泳ぎを真面目に練習していました。進学校の守山高校に進学し、ここでも水泳を続けました。勉強はそこそこながら、理系に進みたいと思っていました。

### 大学進学の実験と転換

山下：その後、大学進学の際には、どのような学部を目指していたのですか？

石井：工学部や工業大学の建築学科を目指していました。しかし、2浪しても志望校には届かず、母の勧めで経法大に進学し、経済学部に入学しました。特に理系から文系に進むことへのこだわりはありませんでした。

山下: 大学時代はどのように過ごされましたか？

石井: サークルには入らず、引っ越しセンターやスキー添乗員、洋菓子工場で働き、アルバイト中心の生活を送りました。授業は真面目に受けていたので、試験前には友人にノートを貸すこともありましたね。経済学部では、山口正之教授のゼミに所属していました。



— 山口ゼミナール —



— 学生時代 旅先にて —

## 家業ではなく、自分の道を選ぶ

山下: お父様が会社を経営されていたとのことですが、卒業後に家業を継ぐ考えはありましたか？

石井: いいえ。子供の頃、父に連れられて工場へ行った際の独特の製品の匂いがどうしても苦手で、将来その環境で働く自分を想像できませんでした。そのため、家業を継ぐという選択肢は全く頭にありませんでした。

山下: 就職先はどのように選びましたか？

石井: 地元・愛知県での就職を希望していました。愛知支部岸支部長が経営している愛洋産業に魅力を感じ、入社を決めました。愛洋産業では、電力部に配属され、ゴムや樹脂の原料・加工品の販売を担当しました。

山下: 愛洋産業では 11 年間勤務されたそうですね。

石井: はい。営業の基礎を学び、スキルアップに努めたのですが、より広い視野を持つために、合成樹脂成型メーカーに転職しました。

山下: その会社では、どのような業務を担当されていたか？

石井: 営業を担当しました。仕事量が多く、残業も多かったのですが、上司に恵まれ、やりがいを感じていました。

## 40歳の決断、管理職としての挑戦

山下: その後、再び転職された理由を教えてください。

石井: 40歳を前に転職を最後のチャンスだと感じ、求人誌でプラスチック成形や金型の仕事に興味を持ちました。転職先の化学品専門商社では管理職として所長に昇進し、サラリーマンとしての意識が大きく変わりました。

山下: その経験が意識の変化につながったんですね。

石井: はい。管理職になると、自分の仕事だけでなく、組織全体を考えるようになりました。部下の育成や会社全体の目標達成を意識するようになり、視野が広がりました。この経験が、後に経営者になる上で非常に役立ちました。

## 父の想いを受け、会社を引き継ぐ決意

山下: そしてその後、お父様から会社を継いでほしいと依頼があったんですね。

石井: はい。化学品専門商社で充実した日々を送っていた頃、父から「会社を継いでくれ」と言われました。弟が会社を辞め、後継者がいなくなったためです。

山下: すぐに決断されましたか？

石井: いいえ、1年ほど悩みました。その間、会社の状況を調べ、自分の気持ちを整理しました。最終的には、会社を存続させたいという思いが強くなり、継ぐ決意をしました。

山下: サラリーマンから経営者へ、意識の変化は大きかったのでは？

石井: はい。社員の雇用を守り、会社を存続させる使命感を持つようになりました。化学品専門商社での管理職経験が、経営者としての視点を持つ上で非常に役立ちました。



## 真生電化工業、さらなる発展へ

山下: 今後の会社としての目標をお聞かせください。

石井: 顧客に満足してもらえる製品を提供することを目指し、社員の技術力を最大限に活かしていきたいです。また、会社の成長を促進し、社員が安心して働ける環境を整えることを目標にしています。地域貢献として消防団にも積極的に参加しています。

山下: 会社のビジョンについてお伺いできますか？

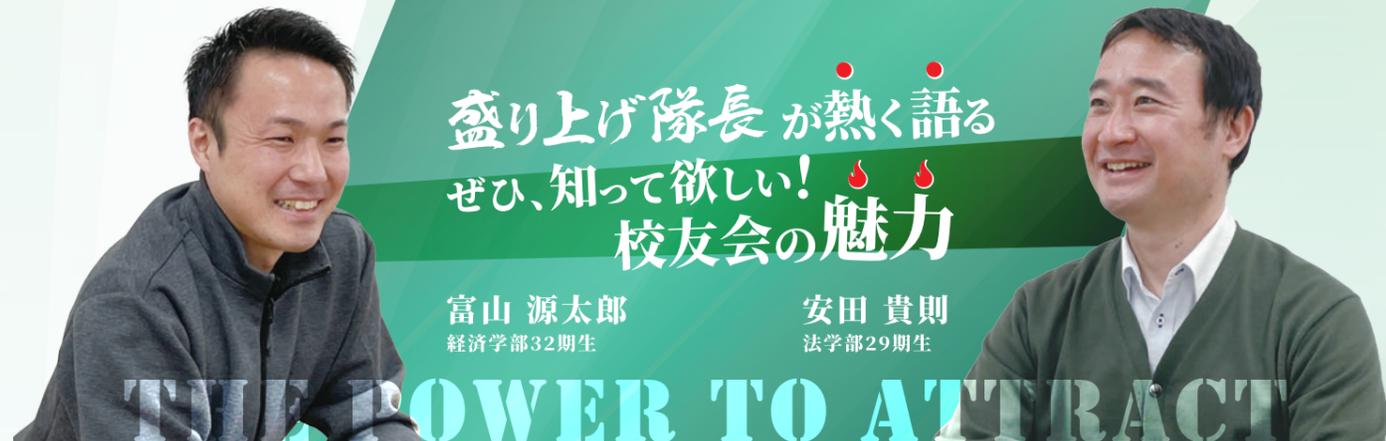
石井: 社員が誇りを持てる企業にし、技術力を高めてメッキ業界をリードする存在を目指します。そして、地域社会にも貢献し、社会に必要とされる企業であり続けることを強く意識して取り組んでいきたいと思っています。



## 校友活動への想い

山下: 校友会活動にも積極的に関わっているそうですね。

石井: はい。大学の縁を大切に、愛知支部の幹事として岸支部長を支えたいと考えています。また、愛知支部を盛り上げ、同窓生とのつながりを深めていきます。



# 盛り上げ隊長が熱く語る ぜひ、知って欲しい! 校友会の魅力

富山 源太郎  
経済学部32期生

安田 貴則  
法学部29期生

## THE POWER TO ATTRACT

### 挑戦し続ける盛り上げ隊長 GENTARO TOMIYAMA

大阪府枚方市出身。学生時代は、アウトドアライフクラブを3人から40人規模に拡大するなど、行動力とリーダーシップを発揮。2回生後期にオーストラリアへ留学し、日本の国際的な注目度を実感。帰国後、能塚ゼミに所属し、学生ビジネスコンテストで収益を生み出す活動に挑戦。卒業後は塾講師を経て、人材ビジネス業界へ関心を深め、34歳で独立。シーキューブ株式会社を設立し、YouTube動画制作を中心に事業を展開中！

今後の  
チャレンジ!

現役学生との授業を通じて、校友会がサポートする新たな形を考えています。もっと留学生や外国籍の校友を増やし、多様性を活かした強い絆を築いていきたいです！

### 情熱を繋ぐ盛り上げ隊長 TAKANORI YASUDA

東京生まれ。小学6年で京都・福知山へ移り、高校まで野球一筋の青春時代を過ごす。現在も母校の公式野球部を応援！大学では西山ゼミで民法を学び、簿記やコンピューター関連の資格取得にも挑戦。長期休暇中はレストランや工場でのアルバイトを経験し、幅広い仕事に触れる。野球と学び、多様な経験を大切に歩みながら、卒業後は関西で会社員として勤務。日々新たな挑戦を重ねています！

今後の  
チャレンジ!

今後は退職された先生方にも校友会に参加していただき、先生方との再会の場を作ることで、より一層温かいコミュニティを築いていきます！

## 校友会の活動、一緒に楽しみながら盛り上げませんか？

今回は、校友会を支える常任幹事であり、広報チームのメンバーでもある安田さんと富山さんに、校友会に参加したきっかけや魅力について伺いました。

### 校友会に参加したきっかけは？

安田: 2007年、校友会の会報誌を見て、その活動内容に興味を持ち、同級生と一緒に参加しました。初めて参加した際には、多くの方と名刺交換をし、さまざまな交流を楽しみました。最初に声をかけてくださったのは渋谷さんで、とても嬉しかったことを今も覚えています。

1年後に再度参加した際には、参加者の皆さんから『また来てくれたんだね!』と温かく迎えていただき、その心のこもった歓迎に魅力を感じました。

富山: 校友会との関わりは、新卒の就職活動時に始まりました。祖父が鹿児島県徳之島出身で、沖縄や奄美地方に親戚が多く、また私自身がサーフィンが趣味だったこともあり、沖縄での就職を考えていました。その際、就職課(現キャリアセンター)で校友会を紹介していただき、先輩方と話すきっかけを得ることができました。沖縄に行く際には、校友会で旅行会社を運営されている勝部さんをご紹介いただき、飛行機の手配など色々お世話になりました。社会人になり大阪に帰ってきた際、勝部さんにご挨拶に伺い、その際に校友会に誘っていただき、幹事として活動に参加することになりました。

### 校友会を続けている理由は？

安田: 幅広い年代の方々と話せる貴重な機会があるからです。総会の企画をみんなで考えるのも楽しく、長く続けられていると感じています。プライベートや仕事、業界の話を共有できるのが魅力のひとつです。また、校友の活躍を追いかけることも楽しみで、インターネットで活躍しているOB・OGを調べたりしています。コロナ禍で集まる機会が減った際に、OB・OG紹介の場を作りたいと思い、調査を始め、準備を進めています。

富山: 先輩方に可愛がってもらえることが大きいです。会議や総会の後に、一緒にお酒を飲んで話すのが楽しく、経営者の方から仕事の話も聞けるのも貴重な経験です。広報チームに所属していることで、仕事では経験できないことも学べ、仕事にも役立つと感じています。10代~70代の幅広い世代と関われるのも魅力で、今後はもっと若い人を集めていかなければならないという使命感もあり、活動を続けています！



皆様のご参加  
お待ちしております!

ぜひ、Facebookでも  
繋がりたい!



# あの頃の想い、 実践を通して学びを革新

大阪経済法科大学 名誉教授  
**能塚 正義 先生**

大阪経済法科大学で副学長を務め、「実践を通して学ぶ」を掲げた能塚先生。高校卒業後エンジニアを経て大学へ進学し、福祉社会学を学んだ後、同志社大学大学院へ。1986年に大阪経済法科大学の専任教員となり、「座学+実習」を融合させた組織実習を開発。キャリアセンター長、副学長を歴任し、多くの学生を育成されました。私にとって恩師である能塚先生の半生や教育への想いをお伺いしました。



インタビュアー：富山 源太郎



八尾駅前キャンパス図書館  
(左)能塚先生 (右)富山さん

## 電気工作好きの青春時代

**富山：**先生のこれまでの歩みについてお聞かせください。  
**能塚先生：**私は終戦直後の1947年生まれ、今年で78歳になります。京都の三条・東山で育ちました。  
**富山：**どんな子供時代でしたか？  
**能塚先生：**小学生の頃は電気工作が好きで、鉱石ラジオや真空管ラジオを作り、中学では発信機に挑戦しました。  
**富山：**高校はどちらへ？  
**能塚先生：**京都市立洛陽工業高校電気通信科で弱電関係を学びました。

## 人生のターニングポイント

**富山：**卒業後の進路は？  
**能塚先生：**沖電気工業に就職しましたが、半年で退職しました。  
**富山：**それはどうしてですか？  
**能塚先生：**高卒と大卒の待遇差を痛感し、大学進学を決意しました。実家の反対を説得し、退職の翌年3月末に東京から京都へ戻り、新聞配達をしながら独学で受験勉強に励みました。  
**富山：**大学受験は大変でしたか？  
**能塚先生：**工業高校出身で受験に苦戦しましたが、英語や国語は独学で克服し、得意の物理を選択科目にしたのが功を奏し、京都府立大学公共政策学部福祉社会学科に合格しました。  
**富山：**福祉社会学科を選んだのはなぜですか？  
**能塚先生：**これからは「人を相手にする勉強がしたい」という

思いがあり、理系から文系へ転向する大きな分岐点となりました。卒業後、同志社大学大学院経済学研究科に進学し、社会政策学の修士論文を書き、博士課程を修了しました。その後、いくつかの大学の非常勤講師を経て、39歳のときに大阪経済法科大学の専任教員になりました。

## 独自性を活かす教育と退職後の活動

**富山：**専任教員になってからはどのような活動を？  
**能塚先生：**パーソナルブランディングを意識し、自分にできることを精一杯やろうと心掛けていました。新たに開発した「組織実習」では、学生が主体的に学べる環境を整えました。  
インターネット黎明期には大学ホームページを立ち上げ、授業の感想をロールアップ表示するシステムを導入するなど、ITを活用した教育にも尽力しました。また、キャリアセンター長として公務員コースを設置し、合格者の経験を共有する取り組みを進めました。その後、副学長を兼任し、大学運営にも尽力しました。  
**富山：**退職後の活動についてもお聞かせください。  
**能塚先生：**「仲良しハウス」という医療生協で活動し、ホームページを自作しながら映画会や子ども食堂、地域の市民大学、アンサンブルなど多岐にわたるイベントを企画・運営しています。退職しても「今日の用事」と「今日行く場所」を持つことが大切と考え、人と関わる活動を続けています。

# 未来へ繋がる。 学生がいる限り、守り続ける

グリーンヒル拍翠(旧白翠寮)  
寮母：<sup>じょうだ</sup>上田 良子さん 娘：<sup>みゆき</sup>行幸さん

地方出身校友にインタビューすると、「寮生活が懐かしい」という声を多く聞きます。親元を離れ、寝食を共にした仲間や大家さんとの日々が鮮やかに蘇るようです。今回は、滋賀県の僧侶・法学部10期生の香林浩道さんが、40年前に過ごした「グリーンヒル拍翠」を訪問。当時の思い出や、寮と寮生の遷り変わりについて談笑。かつて寮生だった皆さんも、お世話になった寮へもう一度訪ねてみませんか？



副会長：山下 浩希



当時のアルバムを囲み、思い出を語る  
(左から)行幸さん、上田さん、香林さん

グリーンヒル拍翠  
公式 Instagram

## 40年ぶりの訪問

**香林：**若奥さん、お久しぶりです。  
**上田：**香林さん、お久しぶり。その住職姿は…？  
**香林：**滋賀県で僧侶をしています。この方は？  
**行幸：**お久しぶりです、行幸です。  
**香林：**えっ、みゆきちゃん!? 僕が寮にいた頃はまだ幼稚園児だったよね！  
**上田：**この子は白翠寮ができた翌月に生まれたんです。今は私と一緒に寮の料理を作っています。  
**香林：**時の流れを感じますね。今日は白翠寮の誕生について教えていただけますか？  
**上田：**白翠寮ができたのは、私が上田家に嫁ぎ、妊娠して実家に戻っていた1978年4月です。5月に出産し戻ってから、義父母と共に働き始めました。  
**香林：**私が入寮したのは、寮ができて3年目。40名ほどの寮生と暮らしていました。白翠寮は「朝はみんな寝てるから」と昼食と夕食の2食スタイル。昼休みに戻ってみんなでごはんを食べていました。お風呂は離れにあり、1回生が交代で薪でお風呂を沸かしていました。  
**上田：**薪でお風呂を沸かすのは、義父のこだわりでした。  
**香林：**私の頃はバイクや車を持っている寮生が多く、よくドライブやツーリングをしてました。部屋の中で麻雀をしているのが見つかり、怒られたことは今では良い思い出です。  
**上田：**みんな活発というか、やんちゃでしたね。



# 懐かしの場所

## みんなの母親のつもりで

**香林：**振り返ると、会報に載せられないような話ばかり思い出します。困っている寮生がいると、大家さんが寮の2階にみんなを集め、「〇〇君が頑張れるように、みんなで支えてあげて!」と涙ながらに訴えたこともありましたね。  
**上田：**義母はみんなの母親のつもりで接していました。1978年に義父母が始めた白翠寮は、1990年に夫が会社を退職し、本格的に寮経営に専念。近くに「カレッジイン拍翠」を建設し、白翠寮も学生のニーズに合わせて改装しました。部屋を広げ、エアコンを設置し、お風呂も1階へ移設。4年かけた改装を経て、1998年に義父母が引退し、私たちに代替わりしました。寮の名前も「白翠寮」から「拍翠寮」、さらに「グリーンヒル拍翠」へと変わりました。  
**香林：**学生の気質も変わりましたか？  
**上田：**初期の学生はやんちゃ坊主。今の学生は落ち着いて真面目です。時が過ぎて笑い話になるような事件?もすっかりなくなりましたね。

## 預かった以上、卒業まで

**上田：**寮経営を始めて40年以上。地方出身学生の減少やコロナ禍で入寮者が激減し、続けるか悩んだこともありましたが、でも、大切なお子さんを預かった以上、卒業までは責任を持つと続けてきました。今年も体育会クラブに入る学生が、「食事がしっかり取れる寮がいい」と希望してくれています。食事付きの寮が減る中、「本当に食事を頑張ってきてよかった」と実感しています。  
**香林：**毎日夕食の写真をインスタで発信されていますよね。どれも美味しそうで、親御さんも安心するでしょう。  
**行幸：**少しでも寮の宣伝になればと続けています。そばで見ている、「お母さん、いい仕事してるね」って思います。  
**上田：**楽な仕事ではないですが、寮生を預かる責任と、卒業後も続く縁が嬉しくて、体が続く限り頑張ろうと思っています。  
**香林：**今日はありがとうございました。40年前の思い出が蘇り、寮が続いていることを嬉しく思いました。今度は当時の仲間と若旦那さんも交え、思い出を語り合いたいです。



## 編集後記 「SWITCH」から「YES I CAN」へ―踏み出す一歩

**校**友会報「Keiho」vol.29をお送りしました。校友会第14期役員スタートという節目を迎え、今号では伴井会長に今期の活動方針と役員名簿を、山垣学長に本学の歴史、教育の特色、そして校友会の活動と今後の展望について寄稿していただきました。

前号vol.28のテーマは【SWITCH よっしゃ！僕も私も頑張れる!!】でした。そして、今号のテーマは一歩進んで【YES I CAN よっしゃ！私もできる!!】です。心にやる気のSWITCHが入ったら、次は行動、そして挑戦です。でも、最初は不安が先立ち、自信が持てず、なかなか前に踏み出せないこともあります。勇気を出して一歩踏み出しても、最初からうまくいくとは限りません。それでも諦めずに一歩一歩挑戦を重ねるうちに、小さな光が見え「もしかして、できるかも」と思える瞬間が訪れます。そして気づけば「できるかも」が「できる！」という確信に変わり、目標を実現することができるのです。

今回ご登場いただいた西さんは、バブル崩壊での派遣切り等で社員食堂の売上が激減する窮地からコ

ンビニ経営へと挑戦。石井さんは、継ぐつもりはなかったお父様の会社を、1年間悩み抜いた末に覚悟を決めて引き継がれました。グリーンヒル拍翠の上田さんも、地方出身学生の減少という厳しい環境を受け入れ、使命感を持って経営を続けています。皆さん、環境の変化という困難に直面しながらも、前向きな選択をし、【YES I CAN】の精神で明るく前へ進んでおられます。まさに『経法魂』の持ち主です。見習いたいですね。

広報部会では、ホットなニュースを冷める前に、大学Webサイトの校友会ページやFacebook、XなどのSNSを通じて発信していきます。ぜひ「大阪経済法科大学校友会」と検索して、最新のニュースをご覧ください。また、校友の皆さんの活躍もどんどん紹介していきたいと考えています。情報がありましたら、遠慮なく校友会事務局までお知らせください。

それでは、5月31日(土)に上本町セラトン都ホテル大阪で開催される総会・懇親会でお会いできることを楽しみにしています！前号でもお伝えしましたが、名刺100枚、お忘れなく！（笑）

会報作成チームリーダー  
山下 浩希



校友会公式SNS  
**CHECK!**

最新情報はSNSで！  
フォローお願いします！



読者アンケート  
あなたの  
意見が会報誌をつくる！

回答期限：2025年6月30日

アンケート



読者の声

入力簡単

✓ 回答欄は  
チェックボックス式！

入力時間：たった2分！

### 大阪経済法科大学校友会事務局

〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10

TEL/FAX 072-941-8268

E-mail kouyuukai@keiho-u.ac.jp

(受付時間) 月・水・金曜日 10時～16時

上記以外はFAX及びメールにて

お問い合わせください。

校友会報掲載内容については、  
校友会事務局までお問合せください。

#### 広報部会会報 作成チーム

山下 浩希 (法学部 10 期生)  
木皮 真理 (経済学部 21 期生)  
安田 貴則 (法学部 29 期生)  
富山 源太郎 (経済学部 32 期生)  
山崎 亮介 (法学部 33 期生)  
西山 蓮 (経済学部 45 期生)